

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

教科名	算数
第1推薦	2 東書
第2推薦	1 7 教出

(算数) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
2 東書	観点1	・1年の数の分解では、10の補数を自分で考える学習活動に繰り返し取り組ませる流れになっている。2年のかけ算では、九九の読み仮名を表記するとともに、九九を覚えるための具体的な練習の仕方をまとめて示している。
	観点2	・図やイラスト等で日常の場面や既習を取り上げ、対話により単元の学習課題をつくる「単元プロログ」がある。(1P) ・対話により、単元全体の学習を振り返り、価値づけたり、次の学習を創出したりする「つないでいこう算数の目」がある。(1P)
	観点3	・6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が1.5ページで示されている。
	観点4	・表紙裏にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数85) 対応する箇所にはDマークを示している。
	観点5	・特設ページ「学びのとびら」(2P)を設け、「友だちと学ぼう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、その活動の観点を単元の中にも挿入している。 ・特設ページ「算数マイノートをつくろう」「算数マイノートを学習に生かそう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントや学習の感想を説明している。

発行者名	主たる観点	主たる特徴
4 大日本	観点1	・1年の数の分解や2年のかけ算では、学習内容を家庭や地域の生活に生かす「おうちで算数」コーナーに、学習内容の定着につながるような家庭での遊びを示している。2年のかけ算では、九九の段ごとに異なる練習の仕方を示している。
	観点2	・イラスト等の場面から、問題や疑問を見いだす「新しい学習がはじまるよ」がある。(1P) ・算数が社会で生かされていることを実感できる「ふくろう先生のなるほど算数教室」がある。(1~2P)
	観点3	・6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が2.5ページで示されている。

	観点4	・『楽しい算数』の使い方」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数88) 対応する箇所には、デジタルコンテンツマークを示している。
	観点5	・特設ページ「算数まなびナビ」(2P)を設け、「学び合おう」等の学習活動ごとに観点を示し、また、その活動の観点を単元の中にも挿入している。 ・特設ページ「算数まなびナビ～ノートのかき方～」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。

発行者名	主たる観点	主たる特徴
11 学図	観点1	・1年の数の分解では、ドット図付き数カードでのゲームを示し、量感を伴った数処理を促している。第2学年のかけ算では、九九の読み仮名の字数が多いものは、一部字幅を縮小している。九九のカードの絵を示して練習を促しているが、具体的な練習の仕方は示されていない。
	観点2	・イラスト等から、日常や算数の授業の中で疑問が生まれる場面、「?を発見」がある。(1P) ・生活の中で算数を役立てることが意識できる「深めよう 生活にいかす」がある。(1P)
	観点3	・6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が8ページで示されている。
	観点4	・大きさはA B判で、作業部分を広くしている。主要な本文書体には独自に開発した書体を使用し、立体感のある絵図を使用している。
	観点5	・特設ページ「3つの学び方で学習を進めよう」(2P)を設け、「主体的な学び」「対話的な学び」等の内容を示し、学習内容と関連づけて説明している。 ・特設ページ「考えるノート」「まとめるノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。

発行者名	主たる観点	主たる特徴
17 教出	観点1	・1年の数の分解では、10の分解・合成を、並び方のきまりやドット図、ブロック図とともに繰り返し確認できるように折込にしている。2年のかけ算では、九九の読み仮名を表記するとともに、具体的な練習の仕方やまちがしやすい九九を示している。

観点2	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材から問題を発見し、算数の問題としてモデル化する「どんな学習が始まるのかな？」がある。(2P) 元で学習したことを日常生活に活用する「学んだことを使おう」がある。(1P)
観点3	<ul style="list-style-type: none"> 6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が1ページで示されている。
観点4	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの手引き」にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数57) 対応する箇所には、「まなびリンク」マークを示している。作図の手順も連続写真(動画にリンク)示されている。(左利きにも対応)
観点5	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「学習の進め方」(2.5P)を設け、「みんなで話し合う」等の活動の観点を絵と言葉で示し、また、その活動の観点を単元の中にも挿入している。 特設ページ「友だちのノートを見てみよう」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。

発行者名	主たる観点	主たる特徴
61 啓林館	観点1	<ul style="list-style-type: none"> 1年の数の分解では、おはじき入れの場面を示して10の分解を促している。2年のかけ算では、九九を覚えるための具体的な練習の仕方を一つずつ示し、関連単元前にそれらをまとめて示している。九九の答えの部分の読み仮名は、どの段の学習ページにも示されていない。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象や既習事項から問題を見いだす「単元とびら」がある。(1P) 日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する「学びをいかそう」や仕事と算数との関わりを記した「ひろがる算数」がある。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> 6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が2ページで示されている。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> 対応する箇所にある二次元コードからコンテンツにアクセスできる。(コンテンツ数370)
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページ「学習の進め方・わくわく算数学習」(4P)で、学習の進め方や「みんなで話し合おう」等の活動の観点を示し、また、上巻末の「資料集」で説明の仕方等を示し、説明している(2P)。 特設ページ「考えがよくわかる わくわく算数ノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。

発行者名	主たる観点	主たる特徴
------	-------	-------

116 日文	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の数の分解では、挿絵をもとに10の分解をした後で、隠された10の補数を自分で考える流れになっている。2年のかけ算では、切り取り式の九九マスターカードを使った九九の習熟を促している。九九の読み仮名の字数が多いものは、全て字幅を縮小している。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・操作活動や既習内容の振り返りや関連付け等から新しい学習への素地づくりを行う「単元アプローチ」がある。(1P) ・作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用して、算数と生活の関連を示す「Hello Math」がある。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・6年「データの活用」における中学校との接続に関わる記述が1ページで示されている。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・目次にあるURLからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Webマークを示している。(コンテンツ数41)
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻頭(1年のみ下巻頭)に特設ページ「算数の学習の進め方」(1P)で概要を示し、上巻末に切り取って使えるシート「学び方ガイド」(1枚)を付け、「学び合おう」等の活動の観点を示し、また、その活動の観点を単元の中に挿入している。 ・特設ページ「算数ノートをつくろう」「つなげよう!学びとノート」を設け、実際の児童のノートを例示し、書き方のポイントを説明している。